

スマート農業推進 北陸

フォーラム in 北陸

～スマート農業の社会実装と

みどりの食料システム戦略の推進を目指して～

12月10日 (金) 13:00～16:40

オンライン開催: YouTube配信 (参加無料)

主催 農林水産省、北陸農政局、農研機構中日本農業研究センター

＝ 令和元年度(採択地区)実証プロジェクトの事例紹介 ＝

実証成果 株式会社 白銀カルチャー (新潟県新潟市)

実証課題名 大規模水田輪作(水稻・大豆)における園芸作物(枝豆)導入に向けたスマート農業一貫体系の実証

経営概要 106.4ha(うち、水稻46.3ha、大豆40.4ha、大麦10.3ha、枝豆8.1ha(枝豆後1.5haカリフラワー)、さといも0.4ha、その他0.9ha) うち実証面積:水稻27ha、大豆40ha、枝豆5ha



導入技術

- ①自動操舵システム ②GPSガイダンスシステム ③自動運転トラクタ ④リモートセンシング
⑤水管理システム ⑥農業用ドローン ⑦食味・収量コンバイン ⑧可変施肥ブロードキャスター



目標 水稻の労働時間削減、大豆の労働時間削減、枝豆の作付面積及び売上高の増加

実証成果 (有)米八 (新潟県新潟市南区)

実証課題名 農業データの一元管理によるスマート農業体系の実証

経営概要 40.0ha(水稻27.5ha、大豆、麦、たまねぎ他) うち実証面積:水稻27.5ha



導入技術

- ①自動操舵システム(トラクタ) ②土壌センサ搭載型可変施肥田植機(+直進アシスト) ③水田センサ・屋外計測センサ ④人工衛星によるリモートセンシング
⑤ドローンによるリモートセンシング・農業散布 ⑥収量センサ付きICTコンバイン ⑦営農管理システム



目標
○水稻の収量及び品質の向上
○企業間のデータ連携により農業者にとって利便性の高いシステムを構築

実証成果 (農)高野生産組合 (新潟県上越市)

実証課題名 ほ場の超大区画化に併せた次世代型大規模水田経営における用途別多品種米低コスト・高品質型スマート農業一貫体系の実証

経営概要 71.9ha(耕作面積:水稲71.1ha、たまねぎ0.2ha) うち実証面積:水稲16.6ha



導入技術

①自動操舵(直進キープ)トラクタ ②直進キープ田植機 ③ブロードキャストによる可変施肥 ④多機能型自動給水栓 ⑤マルチローター(センシング+施肥・農薬散布) ⑥食味・収量コンバイン



目標

- V溝乾田直播と移植栽培の組み合わせにより作期分散を行い、60kg当たり生産コスト削減を目指します。
- V溝乾田直播栽培:7,900円/60kg(10a当たり収量:645kg) 移植栽培:9,400円/60kg(10a当たり収量:585kg)

実証成果 (株)若狭の恵 (福井県小浜市)

実証課題名 中山間地域におけるデータをフル活用した未来型大規模水田作モデルの実証

経営概要 158ha(水稲118ha、大麦16ha、大豆12ha、ひまわり5ha、キャベツ等5.5ha、大規模園芸施設(ミディトマト0.5ha))うち実証面積:73.21ha(水稲66.36ha、大麦3.42ha、そば1.66ha、ひまわり1.77ha)



導入技術

①ロボットトラクタ ②オート田植機 ③可変施肥田植機 ④リモコン式草刈機 ⑤マルチローター(ドローン)によるリモートセンシング ⑥食味収量測定コンバイン ⑦米品質測定システム ⑧ブロードキャスト ⑨経営栽培管理システム(アグリノート)



目標

- 米の平均収量を現状(実証取組前)の420kg/10aから地域(小浜市)の平均値499kg/10a(約2割)に向上。
- 圃場間・圃場内の食味スコアのバラツキ(標準偏差)を50%改善。
- 米生産の作業時間について、8.32時間/10a以下(全国大規模層の平均から4割削減)を達成。

【講演内容】

- 🌿 みどりの食料システム戦略におけるスマート農業の果たす役割：農林水産省
- 🌿 水田作におけるスマート農業実証プロジェクトの取組と今後の課題：農研機構
- 🌿 WAGRI実装をめざした『水稲・小麦・大豆の栽培管理支援Web-API』の開発について：農研機構
- 🌿 総務省における農業関連施策の紹介：総務省北陸総合通信局
- 🌿 RTK(GPS)固定基地局の設置に伴う福井県の現状と動向について：NOSAI福井
- 🌿 スマート農機の紹介

申込方法 以下のアドレスから申し込みください。
<https://www.maff.go.jp/hokuriku/seisan/smart/forum.html>



問合せ先 北陸農政局生産部生産技術環境課 ☎ 076-232-4893